関市農業委員会総会議事録

場所：関市役所 6階 大会議室

○議事日程

令和4年3月7日（月曜日）午前10時00分 開議

- (1) 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
- (2) 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
- (3) 議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
- (4) 議案第4号 事業計画変更申請に対する意見について
- (5) 議案第5号 農用地利用集積計画の承認について
- (6) 議案第6号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について
- (7) 議案第7号 関市農地利用最適化推進委員の辞任に対する同意について

○出席委員（16名）

1番 安田 美雄 君	2番 臼田 正嗣 君	3番 山田 彰 君
4番 井上 正隆 君	6番 伊藤 均 君	8番 玉田 和久 君
9番 山田 タツエ君	10番 八代 治郎 君	12番 青山 雅紀 君
13番 永田 千春 君	14番 西田 耕三 君	15番 西部 徹 君
16番 長尾 始 君	17番 野村 茂 君	18番 日置 香 君
19番 田下 喜代 君		

○欠席委員（3名）

5番 野田 卓志 君	7番 吉田 和子 君	11番 足立 昌人 君
------------	------------	-------------

○委員以外の出席者

農林課主幹	加藤 敏彦 君	農業委員会事務局課長補佐	小石 隆之 君
農業委員会事務局課長補佐	長谷部 香織 君	洞戸事務所主任主査	李 浩基 君

午前10時00分開会

○事務局課長補佐（小石隆之君）

委員の皆様お揃いですので、農業委員会の総会を始めさせていただきます。まず始めに野村会長よりご挨拶をお願いします。

○議長（野村茂君）

皆さんおはようございます。3月に入りまして少し寒さが緩んだかなと思いましたが、昨日の私どもの方も雪が降り、今朝起きましたら屋根が真っ白で、そんなふうに降りましたが、まだまだ寒い日が続く中関市農業委員会総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ロシア、ウクライナにつきましては大変心配な状況になっております。このことによってエネルギーの関係とか農産物の関係とかそういった面で私たちの生活に影響があるのではないかと大変心配をしております。そして国内におきましては東日本大震災が11年を迎えます。そうした中で中部地方では大変大きな地震はありませんが、大きな被害があった濃尾地震からは131年目ということでございます。そういったことで、私たちの住んでいる東海地域も本当に地震には心配なところでございます。なんとか何も無いことを願うばかりでございます。大変お忙しい中ご出席いただきました。今日はですね特にその他のですね下限面積の関係で今までいろいろご審議いただきましたが、その件について、事務局の方から説明をさせていただきますのでよろしく願いをいたします。そして、本日の議案につきましてはご審議いただきますようよろしく願いいたします。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

ありがとうございました。続きまして、農林課主幹加藤がご挨拶申し上げます。

○農林課主幹（加藤敏彦君）

みなさま改めましておはようございます。本日課長が議会対応ということで、私主幹の加藤と申します。代理にて出席させていただきます。よろしく願いいたします。皆様におかれましては、日ごろ農業委員会活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。また、本会が令和3年度の最後の会になるかと思いますが、1年間農業委員会活動に関しまして、皆様のお力を頂きました。ありがとうございます。改めてお礼を申し上げます。会長の方からロシアの問題等ありますが、国の方におきましても、SDGsやカーボンニュートラルこういった言葉が毎日テレビやラジオ等メディアの方に上げられております。そのような中農林水産省におきましてもこれらの実現に向けたみどりの食料システムの構築ということで、戦略のほうが今年度たてられたようです。これにおきましては来年度以降、県、市の方にこの戦略に基づく計画づくりということでまた話が下りてくると思っています。これにつきましては調達、生産、加工、流通、消費の各団体の取り組みにおいてそれぞれの環境負荷軽減の変革を推進するという、少し難しい話ですが、今までの農業の考え方と変わってきて、中長期的な目標が掲げられるということになってくると思われまます。そのような中関市の方におきましても、農業をとりまく情勢は厳しいものがありますが、いろいろな作物も付加価値をつけたりということを考えていくということも重要なことになってくると思っております。本日もこちらの資料の方に議案がいくつかございます。皆様のご審議の方よろしく願いいたします。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

はい。本日の欠席委員でございますが、5番 野田委員、7番 吉田委員、11番 足立委員の3名の方が欠席でございますのでご報告させていただきます。

○議長（野村茂君）

ただ今から、関市農業委員会総会を開催します。会議規則第8条の規定により、委員さんの過半数の出席により、総会は成立しています。次に、議事録署名委員の指名を行います。6番 伊藤委員さん、8番 玉田委員さんのお二人をお願いします。これより、議案の審議に入ります。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請についてを、議題とします。事務局の説明をお願いします。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

議案第1号の説明をさせていただく前に今日当日追加案件ということで何件かお配りしております。まず一点ですがこの後出てくる3条1番の案件につきまして、現地の確認をしていただく

ものがありまして、現場の写真を撮ってきております。それを添付資料ということで配布させていただいておりますし、もう一点につきましては、追加議案ということで、議案第7号A4横の紙でございますが、これにつきましても当日追加で議案として提出したいということで、当日配布をしておりますのでよろしくお願いをいたします。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について。農地法第3条の規定により、下記農地の申請がありましたので、審議を求めます。議案は、1ページになります。

1番の案件 位置図は、1ページになります。申請地は、富津橋の北330mほどに位置する農振農用地区域外の登記地目 田 現況地目 畑 8筆 3,945㎡、畑49㎡、合計 9筆 3,994㎡。申請の目的は、所有権移転です。譲受人は、農業を継承するため、贈与を受けるというもの。譲渡人は、高齢であり、農業ができないため、子に贈与するというものです。

2番の案件 議案は2ページ、位置図は、2ページになります。申請地は、西田原公民館の西160mほどに位置する農振農用地区域内の田3筆 5,210㎡。申請の目的は、所有権移転です。譲受人は、耕作地の規模拡充を図り、農業経営に努めたいため、申請地を譲り受けたいというもの。譲渡人は、相続をしたが、耕作経験もなく、管理ができないため、申請地を譲り渡すというものです。

3番の案件 位置図は、3ページになります。申請地は、中池の南580mに位置する農振農用地区域内の田 2筆 958㎡。申請の目的は、所有権移転です。譲受人は、農業経営拡大のため、申請地を譲り受けたいというもの。譲渡人は、譲受人の要望に応えるというものです。

4番の案件 位置図は、4ページになります。申請地は、下倉知公民館の東170mほどに位置する農振農用地区域外の田405㎡。申請の目的は、所有権移転です。譲受人は、隣地に所有農地があり、規模拡大できることから、申請地を譲り受けたいというもの。譲渡人は、譲受人の要望に応えるというものです。

5番の案件 議案は3ページ、位置図は、5ページになります。申請地は、小瀬南公民センターの北260mほどに位置する農振農用地区域内の田 2筆 1,264㎡。申請の目的は、所有権移転です。譲受人は、農業経営拡大のため、申請地を譲り受けるといふもの。譲渡人は、高齢であることや多忙であり、農地の維持管理ができないため、譲り渡すというもの。1番以外の申請地について、2月14日に現地確認をしたところ、農地であることを確認しております。1番につきましては以前、この場所については遊休農地ということで非常に荒れたところで、現況では草の方は刈られています、何年も耕作はされていないというような状況で、この農地の中に例えば山土とか公共残土が入っていることは見受けられませんが、すぐには耕作ができないかなというような状況の土地でございます。以上よろしくお願ひいたします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。この件につきまして補足説明をいただく前に、安田委員さん、臼田委員さん、伊藤委員さん、玉田委員さん、足立委員さん、から譲受人の営農状況についてご意見がありましたらお伺いをいたします。

（挙手あり）

はい安田委員さん。

○1番（安田美雄君）

はい。1番の案件でございますが。昨日も現場を見てきましたけれど、今説明もありましたように長年耕作がされておられません、今回雑木、雑草などを刈り終わったというだけでございますのでこれを農地とするのはいかがなものと思われまふ。よろしくお願ひいたします。

○議長（野村茂君）

はい、ありがとうございます。他の委員さん方はよろしいでしょうか。

（挙手無し）

はい、それではご意見が無いようですので、議案第1号について、補足説明のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

はい、ございませんようですので、続いて質疑のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

それでは採決に入りますが、ただ今、議案第1号の議案について安田委員さんの方から今の状況では耕作できる状況でないというご意見をいただきましたが、これについて何かご意見のある方は発言をお願いします。

(挙手無し)

それでは無いようですので、議案第1号につきましては安田委員さんの方からご説明がありましたように、この状況では耕作ができるような状況ではないということでございましたので、そここのところの扱いをどのようにしたらよろしいでしょうか、ご意見があればお伺いいたします。

(挙手あり)

はい、安田委員さん。

○1番(安田美雄君)

はい。過去に作付けされた実績がございますのである程度、雑草等を除去すれば何とか農地になる可能性はあると思いますので、それまでしばらく保留ということにさせていただけばいいかとお思います。

○議長(野村茂君)

安田委員さんからこれから耕作ができる状況にもう少ししていただくそのような状態になったとにご審議をしていただくということで、保留というご意見がありましたよろしいでしょうか。何かご意見はございませんか。

(挙手あり)

はい、山田委員さん。

○3番(山田彰君)

はい、写真を見る限り、農地として草とかを起こせば農地になる。僕は現況を確認していないのでわかりませんが。

○事務局課長補佐(小石隆之君)

耕起とかして中に変なものが入っている状況ではなかった。

○3番(山田彰君)

草は刈ってはああるんですね。

○事務局課長補佐(小石隆之君)

はい。

○3番(山田彰君)

草を燃やすなりなんなりして起こせば畑になる。

○事務局課長補佐(小石隆之君)

起こして、やられれば畑として利用できるのは十分可能かなと。

○3番(山田彰君)

これは、相続のようなものですか。

○事務局課長補佐(小石隆之君)

そうですね。贈与なので、渡す方が年齢も年齢で実際経営を子供に移すという。第三者に渡るものではなくて身内の中での移動という形ですね。

○3番(山田彰君)

そういうことであれば、保留しなくても僕はいいと思う。うまく管理してもらえれば。

○議長(野村茂君)

はい、それでは他にご意見ありませんか。

はい、山田委員さん。

○9番(山田タツエ君)

はい。私も今山田さんが言われたように、自分たちも今畑でやっているんですけど、私も現状はみたことないのでわからないですけど、今このような状態で、どのくらい作ってみえないかわからないんですけど、言われたみたいに何度か耕していれば私の畑の近くで草ぼうぼうになってしまつて大変な畑がいくつかあるんですけど、その中で何度か耕して、ほうれん草を作ったりして草が栄養になるといってやってみえて、始めは驚いたんですけど、結構できます。できるので子供さんが頑張つてやられるということであれば、できるのではないかと思うんですが。自分たちは

草が生えるとトラクターで耕したりして作るんですけどやっぱり今それをやっていなくて草ぼうぼうでも結構やる気があればできるのではないかと、今これをみて思いました。草を集めて燃やしたりして、親が畑をやっていたから、それをやりたいという気持ちを大事にしてあげた方がいいのではないかと思います。

○議長（野村茂君）

はい、ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

安田さんお伺いしましょうか。すみません、この状況が今までほんと畑であってこの状況にあるのか、その辺のところやね。トラクター入れて起こせるものなのか。その状況がよくわからないのでその辺りはどうですかね。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

はい、見た限りでは、安田委員も言われるように耕起をしてやれば畑としてできる気はします。ただし、何が気になるかと言いますと、面積が大変大きいんです。全部で4反くらいあるんです。3畝とか4畝ではなく4反。4反の畑って結構大きな畑であって、わりと山際は山際で平地なんですけど、山に近いような場所なんですけど。

○9番（山田タツエ君）

木とかは生えてるんですか。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

以前は正直酷かったです。もっとガサガサで、とてもとてもと言うような場所だったんですけど、2回目職員が見に行った状態ではこのような状況になっておりまして、ある程度開いたような状態までの管理はされている。ただそこで今の起こせばできるというお話であればそれはそれで委員さんの判断ということになりますし、いや、これは草を刈っただけで済まさへんかという、またそのままほかっておいてぼうぼうになってしまわないかという、そういう懸念があるということであれば現実的に野菜なり果樹なり植えられる状態になってから許可するべきだという意見にもなるかと思しますので、これはそれぞれの委員さんのご判断ということになるかと思しますが。

○議長（野村茂君）

ありがとうございました。安田委員さんいかがでしょうか。

○1番（安田美雄君）

やはり先ほども申し上げましたように、長年耕作放棄されておった状況からですね、草刈っただけで許可をとればまたそのままという可能性が非常にありますので、やっぱり耕起するなどしてですねある程度農地として耕作できる状態を確認するべきだと私は思っております。先ほどおっしゃったように面積が大きいですので、野菜ちょっと作るだけでも相当な栽培の計画が要りますのでその辺りを考えますとやはりちょっと耕起されるまで保留すべきだと私は思っております。

○議長（野村茂君）

ありがとうございました。皆様方のご意見いただきました。

（挙手あり）

はい、日置委員さん。

○18番（日置香君）

これ認めないとすると、現状のまま行くわけでしょ。現状のまま行ってしまったら一緒のことだと思いますし、前に進まなきゃいけないということになると一応農業経営の拡大ということになっているんだからこれ認めざるを得ないじゃないか。ましてや家族でしょ。他人でこれだけまとまっているから怪しい使い方をするとということが考えられるという場合は別ですけど、何か家族間で問題があればまたそれも具体提示していただければいいんですけど。このまま認めなければそのまんまだと思いますけれど。何もならない。ですから私は認めた方がいいと思います。

○議長（野村茂君）

他にご意見よろしいですか。これは何年くらい前から耕作していないんでしょうか。多分農地パトロールの時に上がってきていると思いますけれど、どうなんでしょう。ここ5年か10年はやってないですかね。その辺りの状況からご判断をいただくのはどうかなと思しますが。

○18番（日置香君）

そうですね。ここ10年近いですね。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

ここ2、3年の話では無いですね。相当ひどかったんです現状。肥田瀬の辺り農転も出るのでここ通るんですけど、向こうが見えないくらいの木から草からでガサガサだったんです現実。そこまでひどかったものですから。これくらい草が刈ってあるときれいには見えますね。毎回通るたびガサガサしか見ていないものでえらく下の方まで切ったなというふうには思いますが、放置していた年数は1年、2年ではないですね。

○18番（日置香君）

とすると、今回申請がでた理由は何ですか。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

理由はですね。単純にお父さんが高齢になったために農地もこの家持ってみえるんです現実に。管理ができないもので、子供さんに贈与したい。お父さんが子供がやるために自分の名義を息子の名義に変えたい。そのための3条申請であって、日置委員が言われるようにAさんから全く関係ないBさんがその土地を買って管理するから許可を認めてくれというものでもなく、ちょっとニュアンスが違うところがあります。

○議長（野村茂君）

はい。それではみなさんのご意向お伺いしたいと思いますので、採決取らせていただきますけどよろしいですか。まず一つ担当の安田委員さんのご意見を尊重してということがよろしいと思われる方と、ただ今ご意見がありましたように認めてもいいんじゃないかというご意見と二つに分かれておりますので、採決を取らせていただきます。それでは安田委員さんの担当地区、安田委員さんのご意見が出ておりましたように、今回は保留にして取り合えず耕作できる状況に戻していただいてまた審議をするということに賛成の方は挙手をお願いします。

（1名挙手）

はい、ありがとうございました。

これを認めるという方は挙手をお願いします。

（13名挙手）

はいありがとうございました。

反対はお一人ということで、あとは認めるということでしたので、認めるということを進めていきたいと思えます。

それでは議案第1号について採決をいたします。議案第1号の5件について、許可することに異議のない方は挙手願います。

（全員挙手）

はい、ありがとうございます。全員の挙手を頂きました。議案第1号の5件について、許可することとします。

続きまして、議案第2号 農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

議案第2号 農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について。

農地法第4条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。議案は、4ページからになります。

1番の案件 位置図は、6ページになります。申請地は、小瀬南公民センターの西350mほどに位置する 畑 2筆 654㎡、登記地目 畑 現況地目 宅地 3筆 196㎡。合計 5筆 850㎡。農地の区分は、住宅、事業施設等に連担する10ha未満の農地の区域内にある農地のため、第2種農地と判断します。転用の目的は、共同住宅です。申請人は、高齢なため、農業の規模縮小を考えており、申請地を共同住宅として利用したいというものです。2月14日に現地確認をしたところ、一部宅地となっているため、経緯書が添付されています。申請地は、第2種農地であるため、代替性について検討した結果、他に事業の目的を達成することが出来る土地がないため、転用はやむ得ないものと判断します。以上1件につきましてご審議の方よろしくをお願いします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりましたが、議案第2号について補足説明のある委員は挙手にて、発言をお願いします。

(挙手無し)

議案第2号について、質疑のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

(挙手無し)

質疑もないようですので、これより採決します。議案第2号の1件について原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手願います。

(全員挙手)

はい、ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。議案第2号の1件については原案の通り岐阜県知事に進達することといたします。

続きまして、議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

○事務局課長補佐(小石隆之君)

議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について。農地法第5条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。議案は、5ページからになります。

1番の案件 位置図は、7ページになります。申請地は、上日立集会場の西30mほどに位置する 登記地目 畑 現況地目 雑種地 5筆 1,109㎡。農地の区分は、住宅、事業施設等に連担する10ha未満の農地の区域内にある農地のため、第2種農地と判断します。転用の目的は、一般個人住宅です。譲受人は、現在の住居が建築50年を経過しているため、申請地に新たに、一般個人住宅を建築したいというものです。譲渡人は、高齢で土地の管理が難しくなってきたことから、譲受人の要望に応えるというものです。2月14日に現地確認をしたところ、既に雑種地となっているため、始末書が添付されています。申請地は、第2種農地であるため、代替性について検討した結果、他に事業の目的を達成することが出来る土地がないため、転用はやむを得ないものと判断します。

2番の案件 位置図は、8ページになります。申請地は、緑ヶ丘中学校の南590mほどに位置する 田 2筆 256㎡。農地の区分は、用途地域の農地であるため、第3種農地と判断します。転用の目的は、一般個人住宅です。譲受人は、独立して家を建てたいと土地を探していたところ、申請地が売りに出されていたため、転用したいというものです。譲渡人は、住所が遠方であり、農業ができないことから、譲り渡すというものです。2月14日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。申請地は、第3種農地であるため、転用はやむを得ないと判断します。

3番の案件 議案は6ページ、位置図は、9ページになります。申請地は、倉知小学校の北100mほどに位置する 畑 340㎡の内 172.61㎡。農地の区分は、用途地域の農地であるため、第3種農地と判断します。転用の目的は、一般個人住宅です。使用借人は、家族で住む家を建築するため、祖父の土地を借りるというものです。使用貸人は、孫である使用借人の要望に応えるというものです。2月14日に現地確認をしたところ、畑で農地性有りと確認しています。申請地は、第3種農地であるため、転用はやむを得ないと判断します。5条4番と同時許可案件です。

4番の案件 位置図は、10ページになります。申請地は、倉知小学校の北100mほどに位置する 畑 489㎡。農地の区分は、用途地域の農地であるため、第3種農地と判断します。転用の目的は、一般個人住宅です。譲受人は、3番の案件の申請地だけでは、狭いため、住宅の敷地として利用したいというものです。譲渡人は、譲受人の要望に応えるというものです。2月14日に現地確認をしたところ、畑で農地性有りと確認しています。申請地は、第3種農地であるため、転用はやむを得ないと判断します。

5番の案件 位置図は、11ページになります。申請地は、東山公民センターの西290mほどに位置する 登記地目 田 現況地目 宅地 216㎡。農地の区分は、用途地域の農地であるため、第3種農地と判断します。転用の目的は、自動車修理業 事務所 作業所 です。譲受人は、隣に居住し、自動車修理業を営んでいますが、敷地が狭く、作業場が不足しているため、申請地を転用したいというものです。譲渡人は、譲受人の要望に応えるというものです。2月14日に現地確認をしたところ、農地転用許可後、昭和63年に造成しており、経緯書が添付されています。申請地は、第3種農地であるため、転用はやむを得ないと判断します。事変1番と同時許可案件です。

6番の案件 議案は7ページ、位置図は、12ページになります。申請地は、関ノ上自治会センタ

一の北270mほどに位置する 登記地目 畑 現況地目 雑種地 994㎡。農地の区分は、住宅、事業施設等に連担する10ha未満の農地の区域内にある農地のため、第2種農地と判断します。転用の目的は、左官業 資材置場 です。使用借人は、左官業を営んでおり、資材置場が不足しており、申請地を転用したいというもの。使用貸人は、使用借人の要望に応えるというものです。

2月14日に現地確認をしたところ、平成30年から雑種地であり、始末書が添付されています。申請地は、第2種農地であるため、代替性について検討した結果、他に事業の目的を達成することが出来る土地がないため、転用はやむ得ないものと判断します。

7番の案件 議案は7ページから8ページ、位置図は、13ページになります。申請地は、野口集会場の西230mほどに位置する 田 4筆 6,005㎡。農地の区分は、住宅、事業施設等に連担する10ha未満の農地の区域内にある農地のため、第2種農地と判断します。転用の目的は、土木建築業 資材置場 です。譲受人は、申請地が会社の近くであり、公共事業の残土を利用して埋め立てをし、資材置場として利用したいというもの。譲渡人は、相続により申請地を取得したが、管理ができないため、譲り渡すというものです。2月14日に現地確認をしたところ、田で農地性有りを確認しています。申請地は、第2種農地であるため、代替性について検討した結果、他に事業の目的を達成することが出来る土地がないため、転用はやむ得ないものと判断します。本案件は、1,000㎡を超えているため、関市開発指導要綱に基づく開発協議の承認が必要であります。

8番の案件 議案は8ページ、位置図は、14ページになります。申請地は、武芸小学校の東230mほどに位置する 登記地目 畑 現況地目 宅地116㎡。農地の区分は、住宅、事業施設等に連担する10ha未満の農地の区域内にある農地のため、第2種農地と判断します。転用の目的は、一般個人住宅 駐車場 です。譲受人は、現在、実家で生活しているが、手狭になってきたため、隣接地と一体利用し、一般個人住宅を建築したいというもの。譲渡人は、市外に住んでおり、高齢であるため、農業経営が難しいため、譲り渡すというものです。2月14日に現地確認をしたところ、昭和61年に宅地となっており、始末書が添付されています。申請地は、第2種農地であるため、代替性について検討した結果、他に事業の目的を達成することが出来る土地がないため、転用はやむ得ないものと判断します。以上、所有権移転に関するもの6件、使用貸借件設定に関するもの2件、合計8件につきまして、ご審議をお願いいたします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。議案第3号について補足説明のある委員は挙手にて、発言をお願いします。

（挙手無し）

それでは、議案第3号について質疑のある方は挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

質疑も無いようですので、これより採決します。議案第3号の8件について、原案のとおり、岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手願います。

（全員挙手）

はい、ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。議案第3号の8件について、原案のとおり岐阜県知事に進達することとします。

続きまして、議案第4号 事業計画変更申請に対する意見についてを、議題とします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

議案第4号 事業計画変更申請に対する意見について。農地転用許可後の事業計画変更申請がありましたので、意見を求めます。議案は、9ページになります。

1番の案件 位置図は、15ページになります。申請地は、東山公民センターの西290mほどに位置する 現況地目 宅地 216㎡。変更内容は、転用所業者と、転用目的の変更です。当初事業計画者は、昭和61年4月28日に理容院兼住宅として5条許可を得たが、資金の都合により、計画がとん挫しました。今回、承継者が隣地で自動車修理業を営んでいるため、申請地に事務所や作業所を設置したいというものです。5条5番と同時許可案件になります。

2番の案件 位置図は、16ページになります。申請地は、下倉知公民館の西260mほどに位置する 登記地目 田 現況地目 雑種地 2筆 991㎡。変更内容は、転用目的の変更です。当初

事業計画者は、令和3年4月20日に砂利採取のための搬入搬出路として、5条の一時転用許可を得たが、先月許可された砂利採取で発生する表土置き場として利用したいというものです。以上、2件について、ご審議をお願いします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。議案第4号について、補足説明のある委員は挙手にて、発言をお願いします。

（挙手無し）

ございませんようですので、議案第4号について質疑のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

質疑も無いようですので、これより裁決します。議案第4号の2件について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手願います。

（挙手無し）

はい、ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。議案第4号の2件について、原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。続きまして、議案第5号 農用地利用集積計画の承認についてを、議題とします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

議案第5号 農用地利用集積計画の承認について。農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、農用地利用集積計画の承認を求められたので、意見を求めます。議案は、10ページから13ページになります。使用貸借権設定に関するものについて、新規が15筆 6,001㎡、更新が11筆 11,272㎡。貸借権設定に関するものについて、更新が18筆 24,906㎡。地区は、肥田瀬、植野、千疋、下之保、上白金、小屋名、下有知、戸田、の8地区です。権利の設定を受けるものはPLUS株式会社 他 でございます。農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。以上ご審議の方よろしくお願いたします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。議案第5号について、質疑を行います。質疑のある方は挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

質疑もないようですので、採決いたします。議案第5号について、原案のとおり承認することに異議のない方は、挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。議案第5号農用地利用集積計画について原案の通り承認することといたします。次に、議案第6号 相続税の納税猶予に関する適格者証明についてを議題とします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

議案第6号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について。

租税特別措置法第70条の6第1項の規定の適用を受けるための、適格者であることの証明申請がありましたので、意見を求めます。議案は、14ページになります。

納税猶予制度につきまして簡単に説明をさせていただきます。

相続税の納税猶予制度につきましては、農地を営んでいた被相続人から相続又は遺贈により農地を取得した際に、高額な相続税が課税され、農業を継続したくても、相続税を払うために農地を売却せざるを得ないという状況が生じることから、自ら農業経営を継続する相続人を税制面から支援するために、昭和50年度に相続税の納税猶予制度が設けられました。また、平成21年度の改正で、これまで相続税の納税猶予制度は、相続人自ら農業の用に供する場合のみを対象としていましたが、農地の効率的な利用を促進する観点から、市街化区域以外の農地に限り、農地中間管理事業、農地利用集積円滑事業、利用権設定等促進事業等の特定貸付を行った場合についても、対象となりました。

要件としては、①死亡の日まで農業を営んでいた人 ②農地等を生前一括贈与して贈与税の納税猶

予の特例に係る贈与者 ③特定農地貸付は営農困難時貸付を行っていたもの。また、相続人の要件としては、相続した農地（耕作権を含む）で、引き続き自ら農業経営を行うもの。

対象となる農地としましては、被相続人が死亡の日まで、自ら農業の用に供していた農地のみで、物置、通路、作業場など作付けできない部分は除かれ申告の期限は、被相続人の死亡の日から10カ月以内に税務署に相続税の申告を行うこととなります。申請に当たり、農業委員会の「適格者証明」が必要となりますが、農業委員会あくまでも証明書を発行する機関で、それだけで自動的に納税が猶予されるわけではありません。必ず税務署で特例を受けるための申告を行っていただきます。今回の案件の説明させていただきます。

相続人は、倉知の安田 博さん。申請地は、倉知字熊野東1082-5 田 688㎡、倉知字北屋敷1167田 469㎡の 2筆 です。相続開始日（被相続人の死亡日）は、令和3年5月24日です。

提出書類及び現地確認した結果、各要件を満たし、租税特別措置法第70条の6第1項に規定する適格者であると判断します。以上、相続税の納税猶予の適格証明の承認につきまして、ご審議をお願いいたします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。議案第6号について質疑を行います。質疑のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第6号について、原案のとおり承認することに異議のない方は、挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。

議案第6号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について原案の通り承認することといたします。

議案第7号 先ほど事務局から説明がありましたA4用紙1枚のものがありますのでこちらです。 関市農地利用最適化推進委員の辞任に対する同意についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

○事務局課長補佐（小石隆之君）

議案第7号 関市農地利用最適化推進委員の辞任に対する同意について。

谷口久男委員より提出された辞任願に対して同意を求めます。第4地区の委員である谷口委員の配偶者の方から、病気の療養が長引いており、推進委員の活動が難しいということで、辞任願が提出されました。辞任する場合については、農業委員会の同意を得ることが必要となり、総会の議決が必要となります。急遽先週金曜日に事情をお伺いして書類を提出していただいて今月の議案の方に提出をさせていただいたということですのでございます。もし同意をいただけるということでしたらこの後1か月間の公募期間を設けなければなりませんのでホームページなどで1か月間公募をするという形で、さらにまた農業委員会の総会で審議していただくという形になっていきますのでよろしくをお願いいたします。

○議長（野村茂君）

事務局の説明が終わりました。これより質疑を行います。質疑のある委員さんは挙手にて発言をお願いします。

（挙手無し）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案7号について、原案のとおり同意することに異議のない方は、挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

はい、ありがとうございました。全員の挙手をいただきました。議案第7号の関市農地利用最適化推進委員の辞任に対する同意について、原案のとおり承認することとします。

大変ありがとうございました。ご審議いただく内容は以上で終了いたしました。ありがとうございました。

午前11時00分閉会

本日の議会の顛末を記録し、相違ないことを証するためここに署名する。

議長

_____ (印)

6番

_____ (印)

8番

_____ (印)